



片庭市長から認定証を渡される大山篤斗くん

人口が5万人に到達

来年の市制10周年記念より一足先に

来年の3月27日で、当市は市制施行10周年の節目を迎えます。平成18年3月27日に伊奈町と谷和原村が合併した当初、人口は4万1185人。そこから10年を待たずして5万人を達成しました。市では、5万人達成を記念して10月31日、5万人達成記念贈呈式を行いました。

5万人目は大山篤斗くんに

記念すべき5万人目に認定されたのは、大山仁志さん（小張）と妻の美佳さんの長男・篤斗くん（9月12日生まれ）。9月24日の出生届をもって5万人目の認定となりました。

記念品贈呈式当日は、報道陣が詰めかける中、姉の結羽ちゃんなど、一緒に暮らす祖父・仁一さん、祖母・悦子さんも出席し、親子3代が揃ったにぎやかな贈呈式となりました。

認定証および記念品を贈呈

式では、仁志さんに抱っこさ

れた篤斗くんに、片庭市長から5万人目達成の証として認定証が手渡されました。また、記念品として、市認証特産品の「みらいプレミアム」詰め合わせが贈られました。

地元で貢献できる子に育て

認定証を受け取った仁志さんは「篤斗くんが」5万人目と知った時は驚いた。5万人目にふさわしい優しく大きな子に育ててほしい」と笑顔で話してくれました。

篤斗くんの祖父・仁一さんは「将来、つくばみらい市の役に立つ子に育ててほしい」と孫の

成長に期待を込めました。

住み続けたいと思えるまちづくりを

今回の人口5万人達成を受け、片庭市長は「全国的に人口減少社会と言われる中、当市では人口が増加しており、非常に喜ばしい。その期待に応えるためにも、当市を選んでくれた方が、ずっと住み続けたいと思えるようなまちづくりをしていかなければいけない」と話しました。



庁舎に掲げられた「祝 人口5万人達成!」の懸垂幕